

学校教育目標「みずから ひらく」

～宮原への誇りをもち、
自分を磨き、
よりよく生きようとする子どもの育成～

小中一貫教育目標 資質・能力に支えられた『生きる力』の育成

坪内小学校は、明治44（1911）年4月、「呉市坪内尋常小学校」として創立し、令和2年4月に創立109年を迎えた学校です。昭和16年に「呉市坪内国民学校」と改称し、昭和22年2月には、学校給食が開始されました。また同年4月には「呉市立坪内小学校」と改称し、今に至っております。

校庭にある赤羽根の森の桜の木は、春になるとみごとな花をさかせ「ようこそ、坪内小学校へ。」と言って多くの人を迎えてくれているようです。裏門の一番近くには、冬桜の木があり、11月、12月と可憐な花を咲かせます。

校舎の屋上からは、呉湾が一望できます。小鳥のさえずりと「ぼー」という汽笛などが相まって、気持ちを落ち着かせることができます。

本校では、学校教育目標を「みずから ひらく」とし、変化の激しい時代でも常に前向きに取り組み、課題に対して柔軟に対応し、主体的に生きていく児童の育成をめざしています。

そのためには、

- ・ 日々の授業が児童の主体的・対話的で深い学びとなるよう改善していくことが最も重要であると考えます。
- ・ 昨今の気象状況から重点をおいて取り組んでいる防災教育では、土砂災害対応携帯マニュアルにも記載している「自分の命は自分で守る」ということを念頭におき、自ら考え行動できる児童の育成をめざしています。
- ・ 宮原中学校区でめざしている児童生徒像「宮原への誇りをもち、自分を磨き、よりよく生きようとする児童生徒」を念頭におき、学びのルールの定着を図るとともに自律心を高めます。

これらの取り組みをとおして、坪内小学校の児童一人一人が、自分を磨き、どんな時代になろうとも、よりよく生きようとする児童となるよう、教職員が一体となり教育活動を推進していきます。

保護者・地域の皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

呉市立坪内小学校
校長 渡邊 治美